

送付数 55 回答数 19 (施設数 : 17) 回答率 34.5%

※同施設から卒業生別に回答をいただきました(別の担当者)。それぞれ1件としてカウントしております。

Q1.令和7年度入職の本学医学部卒業生の在籍人数をお教えてください。

1名	2名	3名	4名以上
13	2	2	2

Q2.昭和医科大学の卒業生・修了生が次の表の能力・資質を身に付けているかについて、該当する番号をご選択ください。(7)については、具体的な専門知識・技能についてご記入下さい。

設問	1	2	3	計
	身につけている	どちらともいえない	身につけていない	
(1) コミュニケーション能力	14 73.7%	3 15.8%	2 10.5%	19 100.0%
(2) 自己理解・主体的行動	11 57.9%	6 31.6%	2 10.5%	19 100.0%
(3) 課題発見・対応能力・企画力・計画力	7 36.8%	9 47.4%	3 15.8%	19 100.0%
(4) 創造力・論理的思考力	5 26.3%	13 68.4%	1 5.3%	19 100.0%
(5) 学習習慣・自己啓発力	12 63.2%	7 36.8%	0 0.0%	19 100.0%
(6) コンプライアンス・倫理観・モラル	12 63.2%	7 36.8%	0 0.0%	19 100.0%
(7) 専門知識・技能※	7 36.8%	10 52.6%	2 10.5%	19 100.0%
(8) 文章表現力・数的処理能力	7 36.8%	11 57.9%	1 5.3%	19 100.0%
(9) 情報通信技術 (ICT) 活用力	8 42.1%	10 52.6%	1 5.3%	19 100.0%
(10) チームワーク	15 78.9%	2 10.5%	2 10.5%	19 100.0%
(11) 一般的知識・幅広い教養	11 57.9%	7 36.8%	1 5.3%	19 100.0%
(12) 統計分析・数値的分析力	5 26.3%	12 63.2%	2 10.5%	19 100.0%
(13) 社会課題の俯瞰的理解力	6 31.6%	10 52.6%	3 15.8%	19 100.0%

※(7)の具体例

「身につけている」と回答

- ・救急外来での対応

「どちらともいえない」と回答

- ・初期臨床研修医に求められる医学的知識
- ・採血手技、投薬

「身につけていない」と回答

- ・日常診療におけるカルテ記載方法

Q3.能力・資質のうち、貴社・貴団体にとって必要とお考えになるものについて、5つお選びください。

(回答の多いもの上位5つ記載しています)

1	(1) コミュニケーション能力
2	(5) 学習習慣・自己啓発力
3	(10) チームワーク
4	(6) コンプライアンス・倫理観・モラル
5	(2) 自己理解・主体的行動
	(3) 課題発見・対応能力・企画力・計画力
	(11) 一般的知識・幅広い教養

Q4.昭和医科大学では学士課程において建学の精神である「至誠一貫」のもと「真心と情熱をもって医療の発展と人類の健康増進と福祉に寄与する人材」の育成を目的としています。このような人材像は、貴社・貴団体が求める人材像とどの程度合致するかについて、該当するものをご選択ください。

1 合致する	2 どちらともいえない	3 合致しない
18	1	0

Q5.本学の教育に対する、要望や改善点、在学生に期待することなどをご記入ください。**【要望や改善点、期待すること】**

キャリアの一時期だけでもいいので、ぜひ地方の病院で地域医療に携わる時期をもっていただいて、地方で暮らしながら医師をやることの魅力を感じていただければ嬉しいです。

目の前の患者さんから社会的な問題を見つけ、アドボカシー活動に繋げる事の重要性を理解する視点を医学教育のなかに組み入れて頂くことを期待します。

働き方改革によるタスクシェア、タスクシフトが進む半面、主治医としての責任感や勤勉性が薄れていくのを危惧します。あたためて、一人一人の患者さんを大事にし、患者さんから学ぶ姿勢を育てていただけたらと存じます。

患者さんや組織・社会の中で弱い立場の人々に寄り添う精神を育てていただきたいです。

ご本人の元々の特性から、技術を習得するまでに時間がかかっているのだと思われます。

何事にも興味を持つ

非常に熱心に医学教育に取り組んでおられるのを、様々な媒体で拝見します。いろいろ参考にさせていただいております。今後ともよろしく願います。

偶然だとは思いますが、貴大学出身の研修医の先生が2年目に二人、1年目に一人当院におります。3人ともなかなか個性的な先生方です。アドバイスをしたら、「え？俺、ちゃんとやってますよ。」と、アドバイスを受け入れられなかったり、一度自分が決めた臨床推論が正しい方向性ではなかったことを声かけしても受け入れられなかったり、話をしているのに目が合わずずっとうつむいていたりされます。2年目の先生方は私たちなりに声をかけ続け、改善がみられた先生とみられなかった先生がおります。1年目の先生は、引き続き地道に声かけを続けたいと思います。

Q6.本学卒業生の「アンプロフェッショナルな言動」についてお気づきのことがございましたら、ご記載

社会人として遅刻や居眠りが見られること。